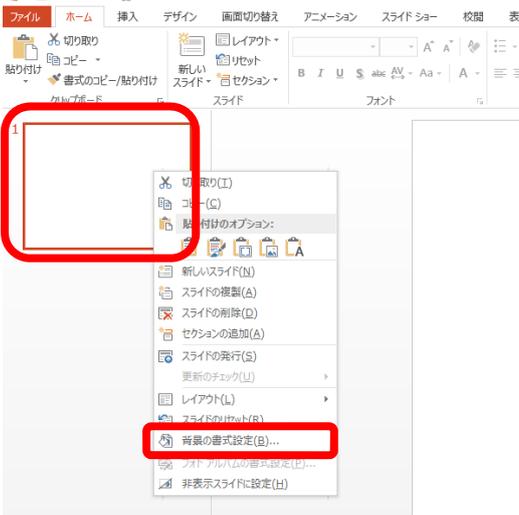
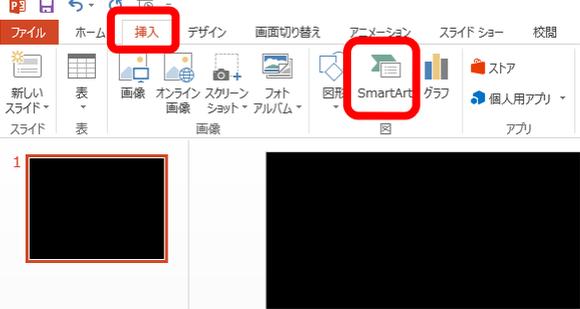
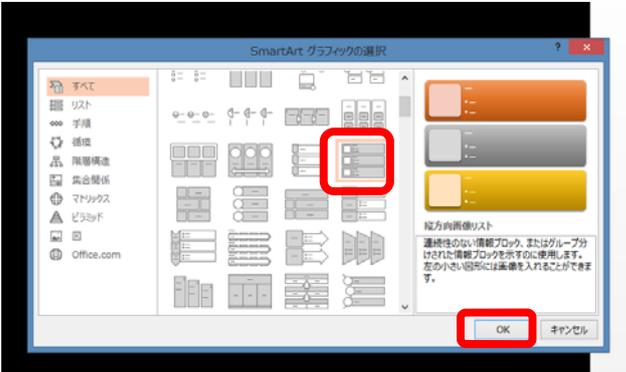
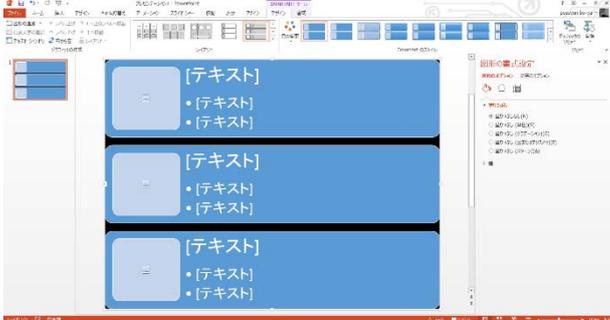
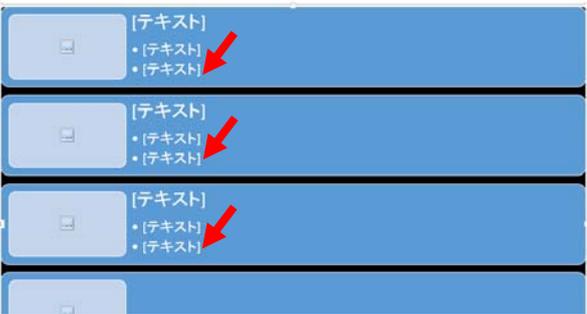
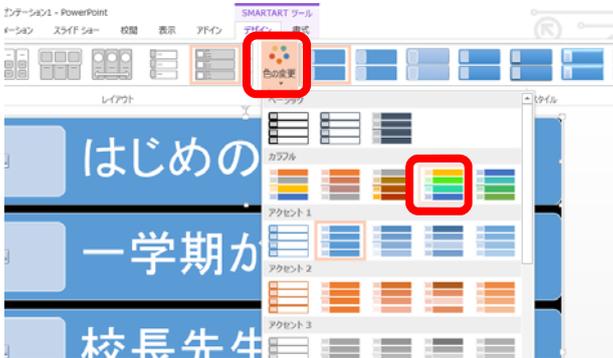


「SmartArt スケジュール」

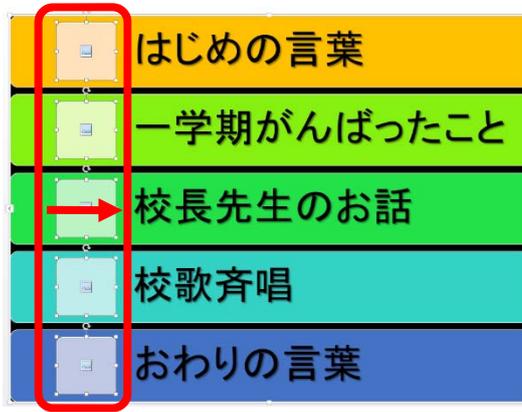
※ このマニュアルは、PowerPoint2013 で書かれています。

1		<p>「デザイン」→「スライドのサイズ」 →「標準（4：3）」をクリック。</p>
2		<p>「ホーム」→「レイアウト」→「白紙」を クリック。</p>
3		<p>画面左側のスライドのサムネイルを右ク リック。 「背景の書式設定」をクリック。</p>

4		<p>右側に「背景の書式設定」ウィンドウが開くので、「色」→「黒」。</p>
5		<p>「挿入」→「SmartArt」をクリック。</p>
6		<p>「縦方向画像リスト」を選択して「OK」。</p>
7		<p>挿入した SmartArt を画面いっぱいに広げます。</p> <p>※ SmartArt を移動させるときは、枠をクリックしながら移動させましょう。</p>
8		<p>「図形の追加」ボタンをスケジュールで必要な枠の分、クリックします。</p> <p>ここでは、2回クリックして、5つの枠に。</p>

9		<p>箇条書きになってる部分を消したいので、一番下の箇条書きをクリックし、「Backspace」キーを2回押します。</p>
10		<p>スケジュールの次第を入力します。「テキスト」という文字がない枠も、その枠をクリックして、文字を入力すればOK。</p>
11		<p>「SmartArt ツール」 「デザイン」 → 「色の変更」 をクリック。 「カラフル-アクセント4から5」 を選択。 もちろん、他のデザインでも可。</p> <p>※ 「SmartArt ツール」 が表示されていない時は、挿入した SmartArt の枠をクリックしてください。</p>
12		<p>「ホーム」 をクリック。 A 「フォントの色」 の▼をクリックして、「黒」 を選択。 S 「文字の影」 をクリック。 文字に影がついて、ちょっとはっきりします。</p>
13		<p>図が入る部分の四角を「Shift」キーを押しながら、全て選択します。</p> <p>四角の縦横の比率を使うシンボルや写真の比率に近い形に変えます。</p> <p>どの四角でもいいので、右端真ん中の○を動かし、ここでは正方形にします。</p>

14



キーボードの「→」キーを数回押して、画像が入る四角を右に寄せます。

15



SmartArtでは、画像を入れる四角の  をクリックすると、図の挿入ができるので、シンボルを入れていきます。

16



シンボルの横に、「挿入」から「テキストボックス」を挿入。

17



「1」と全角数字を入力したら、テキストボックスの枠を選択し、テキストボックス全体が選択された状態に。

A 「フォントサイズの拡大」ボタンをクリックして適当な大きさに。

S 「文字の影」をクリック。

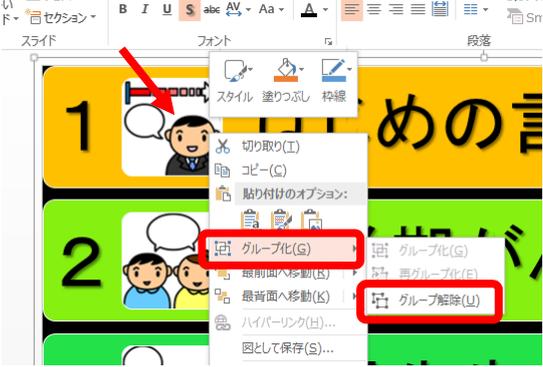
≡ 「中央揃え」をクリック。

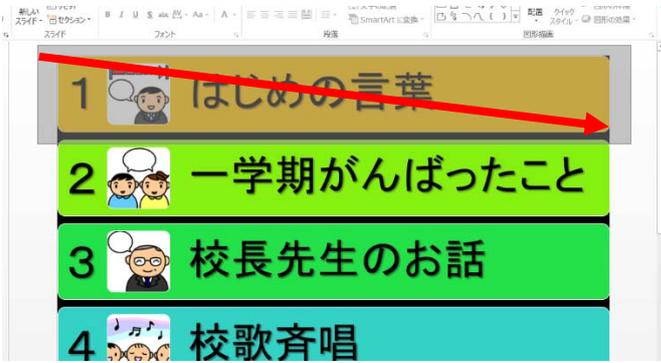
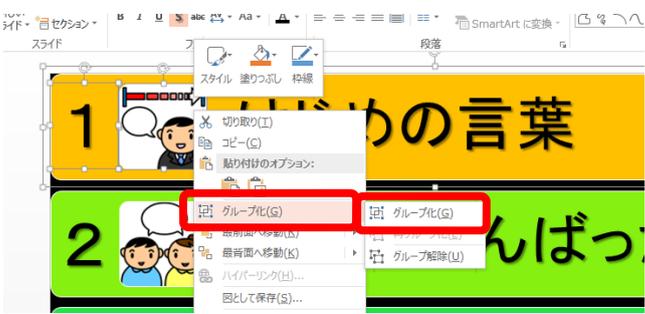
18



「Ctrl」 + 「D」で「1」と入力したテキストボックスを複製。

適当な位置に移動させます。

<p>19</p>		<p>さらに「Ctrl」＋「D」キーを3回押して「1」と書かれたテキストボックスを複製します。 最初に動かした位置と同じ間隔で複製されて行きます。</p>
<p>20</p>		<p>数字を入力し、テキストボックスの位置を微調整します。</p>
<p>21</p>		<p>SmartArt の枠の上のどこかで右クリックし、「グループ化」→「グループ解除」。</p> <p>※ このとき、原因はよくわかりませんが、「グループ解除」できないパソコンがあります。その方はページの最後にある☆手順をご覧ください。</p>
<p>22</p>		<p>SmartArt ではなく、図やテキストボックスがグループ化されたものになるので、さらに、右クリックし「グループ解除」。</p> <p>この時、テキストボックスの上で右クリックするとテキストボックスが選択されてしまうので、枠か画像の上で右クリック。枠は範囲が微妙なので、画像の上がお勧め。</p>

23		<p>それぞれの図やテキストボックスのグループ化が外れてバラバラになります。</p>
24		<p>1番目の次第の、画像、テキストボックスの全てを選択します。 このとき、「Shift」キーを押しながら選択する方法より、スライドの外側からマウスをクリックした状態で四角を描画するように範囲指定をすると楽です。</p>
25		<p>右クリックで「グループ化」→「グループ化」します。(「Ctrl」+「G」のショートカットでも可。) 右クリックするときには、画像の上がお勧めです。 他の次第も、同じようにグループ化していきます。</p>
26		<p>全ての次第がグループ化ができれば、下から2番目（ここでは「4校歌斉唱」）の次第から順次、右クリックして「最前面へ移動」。 これは、アニメーションをかけた時に、消えていく次第が次の次第の裏に隠れないようにするためです。</p>
27		<p>「Shift」キーを押しながら、上から順番に一つずつクリックして全ての次第を選択。 ※ クリックで選択する順番がアニメーションのかかる順番になります。</p>
28		<p>「アニメーション」→「アニメーションウィンドウ」をクリック。</p>

29



右側に「アニメーションウィンドウ」が開きます。

「図の書式設定」は邪魔なので、「×」で閉じましょう。

30



「アニメーションの追加」→「その他の終了効果」をクリック。

31



「フロート」を選択で「OK」。

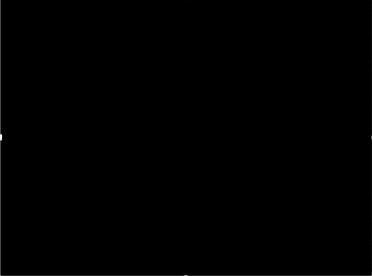
32

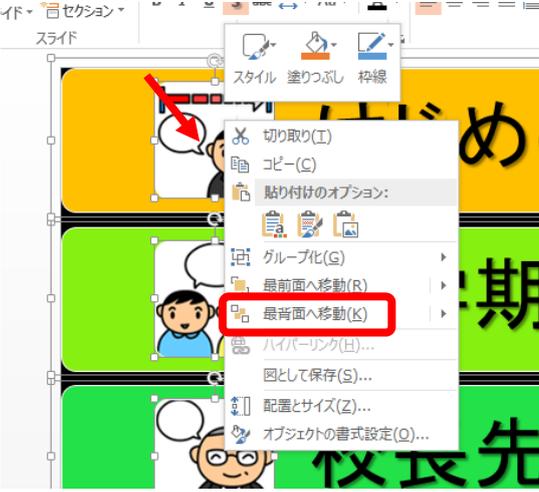


開始のタイミングから「クリック時」を選択。

33		<p>継続時間の▲をクリックし、「02.00」に。</p>
34		<p>キーボードの「F5」キーを押して、スライドショーを実行させてみましょう！ クリックすると、順番に次第が飛んで消えていけば完成です。</p>

補足		<p>この SmartArt を使った画像は、普段使わない方法の図になっています。なので、図を後から変えたいときは、変えたい図を右クリックし、「塗りつぶし」→「図」をクリック。 あとは変えたい画像ファイルを選択すれば OK です。</p>
----	--	---

☆ 1		<p>手順 21 でグループ化解除できないときの方法です。 SmartArt 内の画像をクリックします。</p>
2		<p>「Ctrl」 + 「A」 キーを押します。 SmartArt 内の全ての図やテキストボックスが選択されます。</p>
3		<p>「Ctrl」 + 「X」 キーで SmartArt 内の図やテキストボックスを全て切り取ります。 「Delete」キーで SmartArt の枠を削除します。</p>

4		<p>「Ctrl」＋「V」キーで先ほど切り取った中身を貼り付けます。</p>
5		<p>画像の上で右クリックし、「最背面へ移動」をクリック。</p>
6		<p>これで完了です。 手順 24 から進めてください。</p>